

KAYABA RALLY TEAM



JAF全日本ラリー選手権 参戦レポート #6

2024年 JAF全日本ラリー選手権 第6戦

2024 ARKラリー・カムイ

2024/7/5(金)～7/7(日)

北海道虻田郡ニセコ町/倶知安町/真狩村/磯谷郡蘭越町



新体制 初グラベル完走

クラス10位 (全12台) / 総合12位 (全78台)



KAYABA RALLY TEAM



大会概要

日程: 2024/7/5(金)~7/7(日)
場所: 北海道虻田郡ニセコ町 他
主催: アーク・オートクラブ・
オブ・スポーツ
SS数: 12
路面: グラベル
総走行距離: 385.78 km
SS距離: 90.90 km



スペシャルステージ設定

【DAY1】 7/6(土)

天候: 雨 / 路面: ウェット

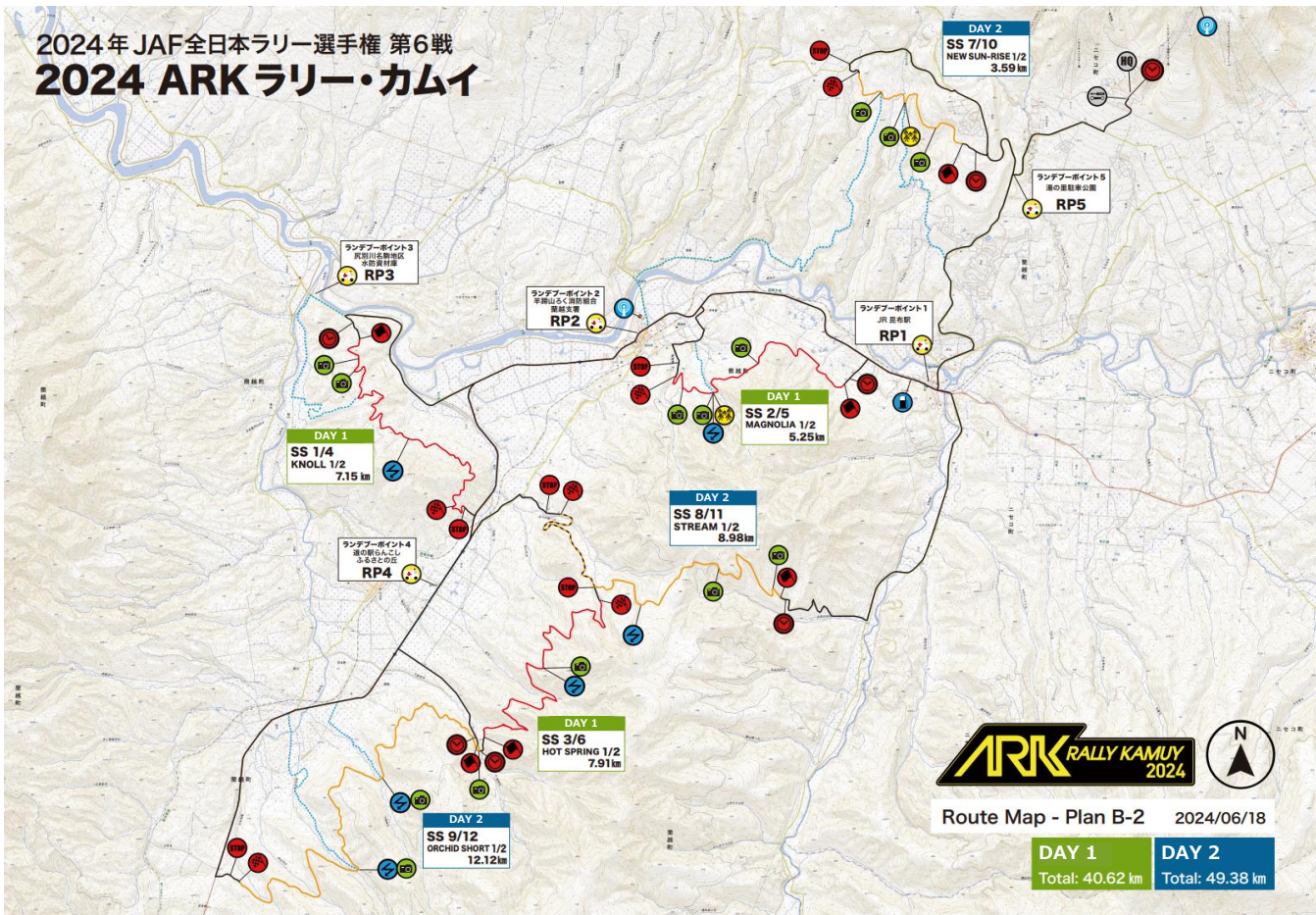
	スタート	9:00
SS1	KNOLL 1	7.13 km 9:43
SS2	MAGNOLIA 1	5.32 km 10:18
SS3	HOT SPRING 1	7.94 km 10:56
<サービスA (45分)>		
SS4	KNOLL 2	7.13 km 11:56
SS5	MAGNOLIA 2	5.32 km 13:34
SS6	HOT SPRING 2	7.94 km 14:09
<サービスB (45分)>		
	パルクフェルメ	15:47
		16:35

【DAY2】 7/7(日)

天候: 雨 / 路面: ウェット

<サービスC (15分)>			6:15
SS7	NEW SUN-RISE 1	3.64 km	6:53
SS8	STREAM 1	9.11 km	7:33
SS9	ORCHID SHORT 1	12.32 km	8:01
<サービスD (45分)>			9:11
SS10	NEW SUN-RISE 2	3.64 km	10:29
SS11	STREAM 2	9.11 km	11:09
SS12	ORCHID SHORT 2	12.32 km	11:37
<サービスE (10分)>			12:37
	フィニッシュ		12:47

全体図



チーム体制



チーム	: KAYABA Rally Team
監督	: 梶本 一憲
チームアドバイザー	: 奴田原 文雄
ドライバー	: 石黒 一暢
コ・ドライバー	: 穴井 謙志郎
チーフエンジニア	: 松下 雄介
チーフメカニック	: 山田 淳一(RUTS RACING)
エンジニア	: 柴田 究悟
メカニック	: 長江 将典、増谷 大志 松田 幸也、三國 大河
マネージャー	: 伊藤 由佳

リザルト (JN-1クラス 10位/12台 総合 12位/78台)

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	DAY 1							クラス 順位	DAY2							クラス 順位	総合計	クラス 順位	総合 順位		
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	Penalty		合計	SS7	SS8	SS9	SS10	SS11	SS12					Penalty	合計
JN-1	2	新井 大輝	松尾 俊亮	Ahead Skoda Fabia R5	ABCUFX11	Rally2	5:54.9	3:45.0	5:49.3	5:51.8	3:45.5	5:48.2		30:54.7	1	2:26.7	6:09.4	8:00.4	2:25.9	6:06.7	7:55.7		33:04.8	1	1:03:59.5	1	1
JN-1	1	勝田 範彦	木村 裕介	GR YARIS Rally2	MXPA12	Rally2	6:00.0	3:48.5	5:54.1	6:01.1	3:47.4	5:49.9		31:21.0	2	2:29.5	6:16.8	8:05.6	2:28.0	6:13.8	8:05.6		33:39.3	3	1:05:00.3	2	2
JN-1	6	奴田原 文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリスラリー2	MXPA12	Rally2	6:02.2	3:50.6	5:53.4	6:04.3	3:48.6	5:55.5		31:34.6	4	2:29.1	6:15.2	8:04.3	2:29.8	6:14.2	8:05.9		33:38.5	2	1:05:13.1	3	3
JN-1	3	福永 修	齊田 美早子	OSAMU焼肉ふじ☆CTE555ファビア	ABCUFX11/R5	Rally2	5:59.1	3:51.2	5:58.8	6:00.0	3:50.6	5:55.8		31:35.5	5	2:31.7	6:20.5	8:09.9	2:30.2	6:23.3	8:10.8		34:06.4	4	1:05:41.9	4	4
JN-1	5	新井 敏弘	井上草汰	SUBARU WRX S4	VBHB4Y8-KAC	JP4	5:58.6	3:51.3	5:55.9	5:58.3	3:50.7	5:54.0		31:28.8	3	2:55.7	6:18.9	8:11.9	2:32.0	6:16.6	8:13.0		34:28.1	5	1:05:56.9	5	5
JN-1	8	鎌田 卓麻	松本 優一	WinmaX DL シムス WRXSTI	VAB	JP4	6:11.4	3:55.4	6:08.1	6:09.7	3:53.6	6:06.2		32:24.4	7	2:36.0	6:31.7	8:32.7	2:35.1	6:31.8	8:25.4		35:12.7	6	1:07:37.1	6	6
JN-1	10	柳澤 宏至	竹下 紀子	MATEX-AQTEC DL GRヤリス	GXPA16	JP4	6:17.1	4:08.0	6:23.4	6:49.2	4:05.7	6:18.0		34:01.4	10	2:40.2	6:38.4	8:36.2	2:39.5	6:37.4	8:42.6		35:54.3	7	1:09:55.7	7	7
JN-1	11	今井 聡	高橋 英悠	AKM・MOTORSPORTS・C3R5		Rally2	6:27.4	4:13.6	6:15.9	6:30.1	4:10.6	6:19.9		33:57.5	9	2:39.9	6:50.8	8:48.9	2:38.6	6:46.9	8:48.3		36:33.4	8	1:10:30.9	8	8
JN-1	7	眞貝 知志	安藤 裕一	GR YARIS GR4RallyDAT	GXPA16	RJ	6:24.2	4:07.6	6:22.1	6:26.8	4:04.8	6:18.1		33:43.6	8	2:38.6	6:42.2	8:56.7	2:40.3	6:52.1	8:59.3		36:49.2	9	1:10:32.8	9	9
JN-2	16	松岡 孝典	北田 稔	ラックDLモビリティ東名古屋GRカロラ	GZEA14H	RJ	6:23.5	4:07.4	6:21.9	6:28.0	4:06.9	6:18.2	0:10.0	33:55.9	1	2:38.8	6:51.8	8:45.5	2:39.6	6:54.7	8:49.1		36:39.5	1	1:10:35.4	1	10
JN-2	14	石川 昌平	大倉 瞳	ARTAオートボックスGRヤリス	GXPA16	RJ	6:29.8	4:12.6	6:29.2	6:31.2	4:14.3	6:29.8		34:26.9	3	2:46.0	7:00.5	9:10.8	2:46.8	7:08.8	9:08.1		38:01.0	2	1:12:27.9	2	11
JN-1	9	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ GRヤリス	GXPA16	JP4	6:35.6	4:14.0	6:33.7	6:42.6	4:21.9	6:45.6		35:13.4	11	2:45.9	6:59.6	9:02.5	2:43.0	7:01.7	9:11.8		37:44.5	10	1:12:57.9	10	12
JN-2	20	長尾 綱也	尼子 祥一	DL CUSCO WM WPMS WRX	VAB	RRN	6:32.8	4:12.3	6:39.7	6:39.3	4:27.0	6:48.0		35:19.1	4	2:44.8	6:55.1	9:05.2	2:48.1	7:08.1	9:40.9		38:22.2	3	1:13:41.3	3	13
JN-1	4	Heikki Kovalainen	北川 紗衣	AICELLO速心DLヤリスRally2	MXPA12	Rally2	6:14.1	3:54.3	6:02.0	6:04.9	3:49.4	5:57.5		32:02.2	6	2:31.1	6:20.8	8:21.1	2:26.6	6:15.4	15:48.8		41:43.8	12	1:13:46.0	11	14
JN-4	32	内藤 学武	大高 徹也	YH TEIN アーリット スイフト	ZC33S	RJ	6:43.9	4:27.3	6:41.6	6:50.7	4:33.6	6:46.6		36:03.7	1	2:50.1	7:21.1	9:36.2	2:50.7	7:21.2	9:35.0		39:34.3	1	1:15:38.0	1	15

ダイジェスト

7/7(金)～9(日)に北海道蘭越町の山々を舞台とした、全日本ラリー選手権 第6戦『2024 ARKラリー・カムイ』が開催された。今シーズン初のグラベル(未舗装路)戦となる本戦には78台が集まり、カヤバラリーチームが臨むJN-1クラスは13台で争う。選手の2人にとっては初のグラベル公式戦、そしてチームとしては初めて雨天でのグラベル戦となった。

計12本のステージが用意され、DAY1/DAY2ではそれぞれ3種類の林道を2回ずつ走行する。狭く高速なステージから曲がりくねったテクニカルなステージまで様々で、所々にターマック(舗装路)が点在しているなど難易度は非常に高い。雨によりさらに滑りやすくなり、1回目の走行によって刻まれた深い轍が2回目の走行難易度をより引き上げた。

初経験となるウェットのグラベル路面における経験値を貯めることを目的に、チームは2日間とも着実に走行し完走することを目指した。雨により車両が泥まみれとなり、泥を落とすところから始まるサービス作業も無事に完遂し、78台中25台がリタイアとなった超難関のサバイバルラリーを、クラス10位/総合12位で完走した。

次戦の『RAALY HOKKAIDO』はグラベルラリーとして、9/6～8に北海道十勝地方を舞台に開催される。



DAY1

朝から降り続ける雨により、ステージ内は滑りやすく難しいコンディションとなった。濡れたグラベルはクルーにとっては初走行であったことから慎重に走行を重ね、細く曲がりくねったSS1をクラス11位/総合15位の出だしでスタートする。SS2は比較的道幅が広く、車両の動かし方を確かめながら走行しクラス11位/総合14位。続くSS3はターマックとグラベルが入り混じる難しいステージであるが、ノートラブルで走り切りクラス11位/総合14位で午前のセクションを終えた。

チームとしても初めての雨のグラベルラリーとなった。サービスでは車両の至る所に溜まった泥を除去しながらの過酷な環境下での整備作業となったが、整備ミスも無く車両を制限時間内に送り出した。

午後のSS4～6はSS1～3をそれぞれ再度走行する。午前のセクションにて、70台超のマシンによって深く刻まれた轍をいかに上手く使えるかが肝となる。午後は雨脚も強まり、各ステージとも路面状態はさらに悪化していった。トラクションの改善を期待しダンパーセッティングを変更して臨んだが、荒れた路面に苦慮する。特にSS4は低速コーナー主体であることから深い轍が出来ており下回りを激しく擦りながらの走行を余儀なくされた。

慣れないコンディションに苦戦しながら辛くも走り切り、初日をクラス11位/総合14位で終えた。



KAYABA RALLY TEAM



DAY2

DAY2も朝から断続的に降り続く雨により引き続きウェットコンディションとなった。SS7は3.64kmと最も短いショートステージで、路面は比較的硬く轍は出来辛いが、速度が乗りやすく道幅が狭いためコースアウトの危険性が高い。SS8は路面が柔らかく轍がしやすいが比較的道幅が広く、コース特性に合わせた走行がポイントとなった。SS9は最長の12.31kmで、速度が乗りやすいが所々に舗装路面が登場する高難易度なステージ。徐々にコツを掴み、前半セクションをクラス11位/総合14位で終えた。

大きな車両不具合無く迎えた45分のサービスでは、ブレーキのエア抜きや増し締めなどの定常作業を実施。最終セクションに向け準備を整えた。

SS10～12はSS7～9のリピートとなる。SS10は轍の影響は少なくSS7から2.9秒のタイムアップ。SS11では大きく荒れた路面と轍の攻略に苦しみ、2.1秒のタイムダウンとなった。最終SSとなるSS12では、路面に埋まった石に引っ掛かり左フロントタイヤをパンクさせてしまう。車両状況を確認しながら走行し、無事に走破した。

コースアウトやマシントラブルで苦しむ車両が多い中、初のグラベルラリーをクラス10位/総合12位で完走した。



KAYABA RALLY TEAM



DRIVER 石黒 一暢

グラベルの経験がほとんどなかったため不安を抱えながら本戦を迎えましたが、まずは完走できたことにほっとしております。ドライビングについてアドバイス頂いた奴田原様、丈夫な車を用意してくださったRUTS RACING山田様、メカニック各位には深く感謝申し上げます。グラベルのウェットコンディションも未経験でしたので、経験を積むことを念頭に走行しましたが、車高よりも深い轍や、ターマック/グラベルが頻繁に入れ替わる路面など、事前テストでは体験できなかった貴重な経験を積むことが出来たのは大きな収穫でした。しかしながら最終SSでは、気を付けていながらも左フロントタイヤをパンクさせてしまい、大変悔しく思います。

参加車両の約1/3がリタイヤするサバイバルラリーの中、しっかり完走できたことで自信にはなりましたが、ペースについては課題が山積みなので、ログと動画をしっかり検証し改善していきます。次戦ラリー北海道は全日本屈指のハイスピードグラベルラリーとなります。困難な挑戦になりますが、反省と対策を考え改めて挑戦したいと思います。



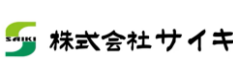
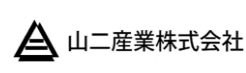
Co-DRIVER 穴井 謙志郎

グラベル路面は経験がほとんどありませんでしたが、事前の練習走行にて、先を見通してコーナーの手前から車両姿勢を作ることがターマック以上に重要となることが理解でき、これまで以上にリーディングのタイミングを重視して臨みました。またドライバーが落ち着いて丁寧に操作ができるよう、無駄な不安を煽らないようにリラックスしてゆったりとリーディングすることを心掛けました。雨のグラベル、かつグラベルとターマックが次々と移り変わるステージもあり、とてつもなく難しいコンディションでしたが、最終SSのパンクを除いてほぼ無傷で完走でき、車両もノートラブルで完走できたことは、チーム全員にとって大きな自信に繋がったと感じています。

今回は完走第一を目標として臨みましたが、石黒がもっと速く、安定して無駄なく走行できるサポートができるよう、引き続き精進してまいります。次戦のラリー北海道は最高速が200km/hをも超える国内最難関のラリーです。良いコ・ドライバーが付いていないと完走できないとも評されるイベントですので、気を引き締めて挑みたいと思います。



Special Thanks



※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。



@kyb_official
カヤバ株式会社
公式YouTube



@kybcorporation
カヤバ株式会社
公式Instagram



@KAYABA_KYB
カヤバ株式会社
公式X(旧Twitter)



Our Precision, Your Advantage

私たちは創業から息づく「ものづくり」の原点に立ち返り、未来に向かって歩み続けます。
Kites rise highest against the wind - not with it. Winston Churchill